



TITLE:

表紙ほか

AUTHOR(S):

CITATION:

表紙ほか. 京都帝国大学文学部考古学研究報告 1940, 15

ISSUE DATE:

1940-05-01

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/181653>

RIGHT:

京都帝國大學文學部考古學研究報告

第十五冊

筑前國嘉穗郡王塚裝飾古墳

昭和十三年—昭和十四年

京都帝國大學

京都帝國大學文學部考古學研究報告 第十五冊

筑前國嘉穗郡王塚裝飾古墳

昭和十三年—昭和十四年

京都帝國大學

序 言

京都帝國大學文學部考古學研究報告書第十五冊として『筑前國嘉穂郡王塚裝飾古墳』を公刊す。本研究は昭和十年九月同古墳發見後、我が考古學教室に於いて前後三回に亘りて行へる調査の結果を收録せるものにして、報告書第一第三の兩冊に發表せし北九州に於ける裝飾古墳調査の業績を繼ぎ、此の新たに見出されたる顯著なる同種遺跡の本質を明にせん事を期するものなり。本調査研究はもと故濱田教授の企圖に出で、同教授實地指導の下に着手せるも、實際の作業は専ら著者兩名これにあたりて、昭和十一年十二月下旬に於ける前後一週間に亘る基本調査と、其の後十三年冬更に實地に就て再検討を行へる結果とを整理綜合せるものに係る。而して本文は第五の「石室内の壁畫」の項の外主として梅原の稿する處なり。此の古墳に就いては、既に『福岡縣史蹟名勝天然紀念物調査報告』第十一輯に川上市太郎氏の「筑前王塚古墳」なる文を載するも、吾人の行へる實測並に壁畫の模寫圖を通じて、其の實狀を明にし、兼て右に基ける考察に依つて遺跡の性質に明瞭の度を加ふ可きものあるは私かに信じて疑はざる處なり。

本報告の對象とする遺跡の調査に際しては福岡縣當局より終始多大の便宜を與へられ、また地元桂川村有志の協力を得たるものあるを感謝す。特に福岡縣囑託川上市太郎氏、九州帝國大學法文學部講師鏡山猛氏、豆田炭鑛員樺島大之進氏、桂川村西村二馬氏、土地所有者中島六次郎氏等より受けたる厚意を銘記せざるを得ず。なほ古墳外形の實測に當つては一部分九

州帝國大學法文學部の有志檜垣元吉氏、磯貝保茂氏等の援助を得たるあり、幕室内の原色寫眞撮影に就いては桑名文星堂の松原勝平、福原坦兩君の盡力に俟つもの少なからざりき。是等は前後數日に亘りて熱心事に従ひ、本報告書の中核をなす壁畫の模寫を完成したる共著者小林行雄君の勞苦、並に概要の英譯に當られし佐藤英吉君の厚意と共に又記して謝意を表する處なり。

最後に此の報告書を公にするに當りて痛恨の念を禁じ能はざるは、本調査を企畫せられたる濱田教授が、其の業半ばにして出で、總長の重責に任せられ、而も僅かに一年にして道山に歸し給ひ、今や幽明所を殊にして永久に本文の閲讀を請ふを得ざる事なりとす。そも、本研究報告書は我が文學部に於ける考古學教室の創設と共に、教授が陳列館の經營と並行して、研究發表の機關として其の精力を傾倒、刊行を繼續せられたるものに係り、教授の輝かしき考古學上の業績を不朽たらしむるものなるは改めて言を要せざるなり。さきに教授が總長の任に就かるゝに當り、本報告前冊に於いて既往を追懷して感慨を漏され、教室内が銳意此の報告書を續刊して我が考古學教室の傳統を繼ぐと共に、更に新たなる業績を示さんことを切に期待せらるゝ處ありたり。而も本研究漸く成りて教授既にいまさず、往時を顧みれば萬感こもごも起り、また思ひ一度將來に及べば責任の重且つ大なるを痛感せざるを得ず。即ち本書を靈前に捧げて恩師の訓言に答へ、更に將來の續刊を所期せんとす。

昭和十四年十二月廿五日

京都帝國大學文學部考古學教室にて

梅 原 末 治

目次

筑前國嘉穂郡王塚裝飾古墳

京都帝國大學教授文學博士

梅原末治

京都帝國大學助手

小林行雄

第一 序 記 一 頁

第二 古墳の位置 五

第三 古墳の現状と其の本來の形式 八

第四 石室の構造 八

第五 石室内の壁畫 六

第六 發見の遺物 七

第七 後 論 四

圖版目次

卷首	王塚古墳前室正面觀(原色寫眞・桑名製版)	本文對照頁 二〇三
第一	筑前嘉穂郡地方地形圖(陸地測量部五萬分一地形圖『太宰府』圖幅分載)	一七
第二	(一) 西方の山丘腹より遠望した王塚古墳所在地(桑名寫眞)	五七
	(二) 東方山丘上より俯瞰した王塚古墳所在地(同上)	五七
第三	(一) 南東より人家を隔てゝ古墳を望む(同上)	六七
	(二) 北方よりの王塚古墳の近景(同上)	六七
第四	王塚古墳外形現狀實測圖(梅原・小林・樺島實測、小林製圖)	八六
第五	前面(南西)より見た王塚古墳殘存の封土(桑名寫眞)	九三
第六	封土 (一) 後圓丘の切斷面(同上) (二) 同部封土の築成狀況(川上市太郎氏寫眞)	九三
第七	封土 (一) 後圓丘北邊第二段の苜石(桑名寫眞) (二) 後圓丘切斷面南半の景觀 (梅原寫眞)	九三
第八	王塚古墳石室實測圖(小林・梅原實測、小林製圖)	一〇六
第九	王塚古墳石室裝飾模寫圖——西南壁面(原色版・小林模寫圖)	一〇三
第一〇	同上——東北壁面(同上)	一〇三
第一一	同上——前室正面(下)主室奥壁面(同上)	一〇三
第一二	同上——主室前壁面(同上)	三

第一三	石室主室正面觀(桑名寫眞)	九・三
第一四	同 主室奥石屋形及棺床正面觀(原色寫眞・桑名製版)	一〇・六
第一五	同 主室奥石屋形及棺床細部 二景(桑名寫眞)	三・三
第一六	同 主室奥石屋形及棺床細部 二景(同上)	三・三
第一七	同 (一)主室奥石屋形下の棺床(二)主室内に於ける二個の石枕(同上)	三・三
第一八	同 主室奥石屋形及棺床裝飾模寫面(原色版・小林模寫圖)	三・六
第一九	同 主室内の左右の燈明臺石(原色寫眞・桑名製版)	三・五
第二〇	同 主室の前壁觀(桑名寫眞)	九・〇
第二一	同 主室西隅觀(同上)	三・三
第二二	同 主室前壁下半部左右の裝飾(原色寫眞・桑名製版)	三・三
第二三	同 (一)主室天井見上げ寫眞(桑名寫眞)(二)主室北隅下半觀(同上)	三・三
第二四	同 前室正面戸口左右石の裝飾(原色寫眞・桑名製版)	九・〇
第二五	同 (一)前室正面戸口上の楣石(同上)(二)前室前面閉塞狀況(同上)	三・〇
第二六	遺物土器類(一)土師器杯及蓋杯(同上)(二)祝部杯及蓋杯(同上)(三)葉脈壓痕のある杯及蓋(川上市太郎氏寫眞)(四)土師器埴(桑名寫眞)	六・元
第二七	同 土器類(一)封土發見祝部土器類(同上)(三)封土發見彌生式土器片及埴輪圓筒片(同上)	七・元
第二八	同 玉及裝身具(一)丸玉金・鍍金銅・鍍銀鈴(同上)(二)切子玉・管玉・衾玉・小玉	

第二九	遺物變形半圓方形帶神獸鏡(桑名寫眞)	三九—四一
第三〇	(一)直刀・鉾(槍)身及石突(同上) (二)同直刀一部及鹿角製裝具形狀圖	四一
第三一	同 鹿角裝刀子及異形利器狀鐵製品(桑名寫眞・梅原實測)	四二—四三
第三二	同 挂甲小札類(桑名寫眞)	四三—四四
第三三	同 挂甲・鏽着札(同上)	四四—四五
第三四	同 鞍前後兩橋礮金具(寫眞及實測圖)	四五—四六
第三五	同 鐵製輪鐙 二双(桑名寫眞・梅原實測・小林製圖)	四六
第三六	同 壺鐙殘缺(同上)	四六
第三七	同 鐵地金銅張・鑣轡 其一(同上)	四六—四七
第三八	同 鐵地金銅張・鑣轡 其二(同上)	四六—四七
第三九	同 鐵地金銅張・S字形・鑣轡(桑名寫眞・小林實測製圖)	四六—四七
第四〇	同 鐵地金銅張・杏葉 二種(桑名寫眞)	四七—四八
第四一	同 鐵地金銅張・雲珠に懸垂の原形を遺存せる同製の結紐狀・杏葉(桑名寫眞・梅原實測・小林製圖)	四七—四八
第四二	同 鐵地金銅張・雲珠及それに懸垂の原形を遺存せる偏圓形・杏葉(同上)	四七—四八
第四三	同 鐵地金銅張・十字形・雲珠(桑名寫眞)	四八—四九
第四四	同 (一)鐵・鍬及鐵製・鍵形品 (二)鐵地銀被・鈎狀品・鉸具・殘缺其他(同上)	四九—五〇

挿圖目次

第一圖	筑前桂川村金比羅山古墳全景(小林寫眞)	四
第二圖	筑前桂川村天神山古墳外形實測圖(小林・鏡山等實測・小林製圖)	四五
第三圖	筑前桂川村二古墳(金比羅山古墳及天神山古墳)景觀(小林・桑名寫眞)	四五
第四圖	王塚古墳附近地形圖(陸地測量部五萬分一地形圖に據り修正)	五
第五圖	王塚古墳所在地地形斷面圖(梅原實測・小林製圖)	六
第六圖	王塚古墳封土内外發見彌生式土器類及石劍(梅原製圖)	七
第七圖	王塚古墳附近地籍圖(桂川村役場所藏圖に據る)	八
第八圖	王塚古墳後圓封土第二段の葺石狀態(梅原實測製圖)	一〇
第九圖	王塚古墳外形復原試圖(梅原・小林)	一五
第十圖	王塚古墳石室內調查作業狀景(川上市太郎氏寫眞)	一七
第十一圖	筑後椿子村重定古墳石室圖(梅原實測)	一九
第十二圖	王塚古墳石室透視圖(小林製圖)	二三
第十三圖	王塚古墳石室內所在石枕(小林實測製圖)	二三
第十四圖	王塚古墳石室正面通路閉塞の石扉形狀圖(梅原製圖)	二四
第十五圖	王塚古墳石室底面詳細圖(梅原實測・小林製圖)	二五
第十六圖	王塚古墳主室南壁一部詳細圖(梅原實測・小林製圖)	二七
第十七圖	丹後竹野村發見石枕(堀池氏寫眞)	二七

第十八圖	王塚古墳石室の裝飾文様要素圖(小林製圖)	二九
第十九圖	同上石棚三角形彩色説明圖(同上)	三〇
第二十圖	王塚古墳發見玉類(梅原實測製圖)	四〇
第二十一圖	王塚古墳發見銚身及石突(小林實測製圖)	四二
第二十二圖	王塚古墳發見鐵鏃形狀圖(梅原實測製圖)	四三
第二十三圖	王塚古墳發見挂甲小札形狀圖(同上)	四四
第二十四圖	筑後福島町正福寺所在石馬(川上市太郎氏寫眞)	四八
第二十五圖	王塚古墳發見十字形雲珠實測圖(梅原實測・小林製圖)	四九
第二十六圖	王塚古墳發見鐵地銀張鈎狀品(梅原實測製圖)	五〇
第二十七圖	王塚古墳石室內遺物發見位置略圖(小林製圖)	五一
第二十八圖	筑後岩戸山古墳外形圖	五七
第二十九圖	筑後岩戸山古墳石鞆石楯圖(梅原・小林實測)	六〇

昭和十五年三月二十日印刷
昭和十五年五月一日發行

定價拾貳圓五拾錢也

京都帝國大學文學部

京都帝國大學文學部

編輯代表者 梅原末治

發行者兼
圖版印刷者 桑名啓价

活版印刷者 須磨勘兵衛

京都市中京區夷川寺町西入

發行所

京都市中京區
夷川寺町西入

桑名文星堂

電話上(3)六〇三番
振替京都一二三〇三番

REPORT UPON ARCHAEOLOGICAL RESEARCH IN
THE DEPARTMENT OF LITERATURE, KYOTO IMPERIAL UNIVERSITY
VOLUME XV, 1939

**ORNAMENTED TOMB ÔTSUKA
AT JUMYO IN CHIKUZEN**



THE KYOTO IMPERIAL UNIVERSITY

KYOTO 1939